



あした 未来へつなぐ

JR北海道グループは、お客様の安全を最優先に、安心してご利用いただけるサービスを提供し、お客様満足の向上をめざします。

北海道の厳しい気象条件に挑むJR北海道 冬期間の安全・安定輸送を確保します

降

雪量も多く、寒冷地でもある北海道において、鉄道の安全・安定輸送を確保するためには、人力と地上設備、さらには除雪機械等を駆使した北国ならではの冬期対策が必要不可欠です。

たとえば、駅構内の線路上の雪は除雪機械等で除雪



排雪モーターロータリーによる除雪作業。

できますが、ポイントや線間、ホームなどに積もった雪は人力でなければ取り除けません。そのため、全道各地の駅構内では、一日あたり千百人規模の係員が除雪作業にあたっています。また、道内に約千五百カ所ある踏切でも、人力による除雪作業を実施しているほか、列車の床下に付着した雪やトンネル内にでき

たつらら、結氷なども、人の手によって除去されています。いずれも、多くの係員が昼夜を問わず作業にあたり、それはこれからも変わることはありません。

一方、地上設備による主な雪害対策としては、線路の切替えを行うポイントにマットヒーターや融雪ピット



駅構内除雪の様子。

ト、圧縮空気式除雪装置などを導入し、ポイントの可動不良を防いでいます。除雪機械については、排雪モーター、ラッセルモーター、排雪モーターロータリーの三種類を運用。今年度は新たに在来線用の四台を取り替え、全百二十六台を各地に配備して除排雪を行っています。

また、お客様へタイムリーな運行情報をお伝えするため今年七月から、HP上で「Kitacaエリア列車運転状況」をモニター

公開しています。このコンテンツではKitacaエリア五十四駅について、列車の遅れや運休情報のほか、ご乗車予定の列車がどこを走行しているかもお知らせしています。

JR北海道では、こうした取り組みを通じて、お客様が冬期でも安心して列車を利用できる体制づくりを目指していきます。



「Kitacaエリア列車運転状況」の画面イメージ



JR北海道ホームページ
またはこちらのQRコードから
アクセスできます

「Kitacaエリア列車運転状況」はパソコン、スマートフォン、タブレット端末等からご覧いただけます。